

令和7年8月吉日

関係各位様

第65回高松東讃地域シームレスケア研究会のご案内（第1報）

拝啓

時下皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、下記の要領にて「高松東讃地域シームレスケア研究会」を開催致します。ご多用中のところ誠に恐れ入りますが、お繰り合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

会場は香川県社会福祉総合センターにて開催させていただきます。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

今回全体での講演会は、脳卒中経験者の松永知子様による特別講演を開催いたします。内容について別紙参照下さい。参加者については制限を設けておりませんので、ご興味のある方にお声掛けの上ご参加下さい。

敬具

－記－

日程：令和7年10月15日（水） 19:00～21:00までに終了予定

場所：香川県社会福祉総合センター7F(大会議室、第1中会議室)大会議室前で受付します。

【重要】 駐車場につきましては、前回と同様に高松赤十字病院様の外来駐車場をお借りさせていただきますよう、お話をいただいております。

駐車券を会場まで持参いただけると開催時間中の料金は無料とさせていただきます。患者さんや職員、病院周辺の方々には迷惑のないようにご注意をお願い致します。

世話人会は、18:45～19:00までの予定で同場所にて行いますので、世話人の方々はお集まり下さい。

- ・ 今後連絡先の追加や削除などが必要な方は、事務局まで連絡してください。連絡は全てメールで行わせていただきます。

以上

高松・東讃地域シームレスケア研究会事務局

香川大学脳卒中心臓病等総合支援センター内

担当：川西正彦 kawanishi.masahiko@kagawa-u.ac.jp

島田純子 shimada.junko.c1@kagawa-u.ac.jp

電話：087-891-5684

脳卒中経験者・松永知子さんによる特別講演

このたび、脳卒中という重大な局面を実際に体験され、驚異的な回復を遂げられた“当事者”である松永知子さんをお迎えし、医療関係者の皆様を対象にした特別講演を企画いたしました。

本研究会は参加費無料です。関係者であれば聴講が可能ですので、普段参加されていない方々にもお声がけいただきたくさんの方に聴講いただきたいと思います。

◆ 松永知子さんの壮絶な体験と回復の軌跡(週刊女性 PRIME より)

- 松永さん(当時 42 歳)は、離婚届を提出する翌日に突然、脳出血を発症。左半身麻痺に襲われ、意識を取り戻した時には集中治療室のベッドに横たわっていたという、まさに“予期せぬ”出来事でした。
- 発症翌日から意識的に“右半身の動きを左側に転写するイメージ”を行い、感覚が残っている部位を大切に集中して動かすことで回復への第一歩を踏み出されました。リハビリ担当医から「3 年かかって杖で歩けるようになるかどうか」と厳しい見通しを告げられる中、驚くべきことにわずか 1 年半後にダンスのステージに立つまで回復された、その“奇跡的な復活”は、多くの医療関係者の感動と希望への灯をともし逸話です。

このような壮絶でありながらも希望に溢れる実体験は、患者の立場から見た医療や支援の現場の課題、そして多職種連携の意義を改めて考える強い契機となります。医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、介護・地域支援関係者などが、どのように患者さんを支え、連携し、可能性を引き出すか——そのヒントを松永さんのストーリーから学ぶことができるでしょう。